



# 神戸学園都市 ワイズメンズクラブ



THE Y'S MENS CLUB OF GAKUENNTOSHI  
THE SERVICE CLUB TO THE YMCA

2022年11月（通巻341号）

- ・神戸学園都市クラブ会長：杉本隆人：「日々新たなり」 New reforms everyday
- ・国際会長：K. C. Samuel（インド）：  
「フェロウシップとインパクトで次の100年へ」  
Into the next 100 years with FELLOWSHIP & IMPACT  
スローガン：「自己を超えて、変化を起こそう」 Beyond Self and Be The Change
- ・アジア太平洋地域会長：Shen Chi-Ming（台湾）：  
「新しい時代とともに、エレガントに変化を」 Elegantly Change with New Era  
スローガン：「今すぐ実行を」 Doing It Right Now
- ・西日本区理事：田上 正（熊本むさし）：  
「原点を知り将来に生かす」 Know the Origin and utilize it in the future!  
副題：「立ち上がれ、ワイズモットーと共に！」
- ・六甲部長：若林茂幸（宝塚）：  
「困難なときにこそ YMCA と共に進もう」 Let's proceed with YMCA in difficult times

## 11月 第1例会

日時：2022年11月23日(水)  
場所：しあわせの村

### <プログラム>

- ・チャリティラン参加

## 11月誕生者おめでとう！

- ・内田邦彦（11月20日）

## 10月の出席状況

第一例会 11名  
（ゲスト 2名）  
事務例会 9名  
（ビジター 1名）

[役員] 会長：杉本隆人、直前会長：田辺征一、書記：内田邦彦、会計：中村 剛、連絡主事：櫻井英治  
[委員] 地域奉仕・環境：森本哲男、Yサ・ユース：柴田昌一、交流：田辺征一、辻本邦子、ファンド：  
丹家元陽、野呂隆、EMC：田辺征一、広報・ブリテン：田辺征一、メネット：合田洋子、  
メール委員：杉本隆人

[西日本区役員] JWF 委員：杉本隆人 [IBC]台湾高雄ポートクラブ（2004年1月締結）  
[DBC]東京武蔵野多摩クラブ（2011年6月締結） [DBC]岡山クラブ（2018年6月締結）

神戸学園都市クラブ 〒651-2102 神戸市西区学園東町2-1-3 TEL 078-793-7402、FAX 078-793-7470  
第1例会：第3木曜日、事務例会：第1木曜日、

## 会 長 通 信

会長 杉本隆人

### 今期テーマ「日々新たなり」

今年も後40日あまりで終わろうとしています。コロナ感染も収まらず第八波をむかえており、今年もコロナに振り回されたような気がしてなりません。

くれぐれも用心を忘れないで日々の行動を気をつけて下さい。第八波はインフルエンザも同時流行するとも言われております。

コロナの影響下で、本来の活動がままならない中で、我々は何をなすべきかという基本的なスタンスをもう一度、考えたいと思います。

### 「初心忘るべからず」

世阿弥の「花鏡」にある言葉で、習い始めのころの謙虚で真剣な気持ちを忘れてはならない。正に今、このことを思い出し、ワイズメンズクラブに入会した当時の自分がどうであったかを振り返りたいと思います。

今は、私と丹家ワイズの二人だけが、チャーターメンバー（クラブ設立からの会員）となっていました。設立時には、30名近い会員でスタートしたことを覚えています。今となっては、夢のような会員数でした。

ちょうど設立から1年あまりで、阪神淡路大震災が発生し、復旧作業のボランティア活動、炊き出しにと忙しい日々であった気がします。

何をなすべきかは、周りの環境をみて、何が私たちにできるのかを考え、行動していけばいいのだと、私は思います。

来年1月で設立より30年を迎えます。この機会にあらためて何をなすべきかをみんなで一緒に考えていきましょう！！

### <10月例会報告>

日時：2022年10月21, 22日（金・土）

場所：西神戸YMCA

出席：内田、合田、合田メネット、櫻井、柴田、杉本、杉本メネット、田辺、丹家、中村、野呂

ゲスト：2名

今年の“ワイワイまつり”もコロナのため恒例の“もちつき”は行えず、昨年と同様“のみの市”担当となりました。前日の午後からメネットやメネットOBの協力を得て、品物の値付け・陳列を行い、会場づくりを行いました。

ワイワイまつり当日は好天に恵まれて朝から多くの人でにぎわいました。今年も、混雑を避けるため1時間ごとの入替制であるため、お客さんの入りを心配しましたが、昨年より好調で、売り上げも昨年を大きく超えました。

屋外ステージではYMCA各クラスの演技があり、キッズダンスから成人のフラダンスまで日ごろの成果を発揮、多くの見物人でにぎわっていました。

午後3時、来年こそはもちつきができる事を念じつつ、後片付けに取り掛かりました。

（田辺征一）



のみの市は大盛況！！



子供たちの元気なキッズダンス

### <11月事務例会報告>

日時：2022年11月10日（木）18:00~19:30

場所：西神戸YMCA

出席：内田、櫻井、柴田、杉本、田辺、中村、野呂

## 1. 報告事項

- (1) わいわいまつり評価会がありました。(評価表を提出)
- (2) リモート会議にて六甲部役員会が11月3日(木)にありました。
- (3) ネット委員会議事録を受信しました。(各クラブより1万円協力要請)
- (4) 理事通信11月号を受信しました。
- (5) 六甲部部長通信10月号を受信しました。
- (6) 西日本区理事提案を受信しました。
- (7) 12日、部会が宝塚ホテルにて開催されます。参加者3名
- (8) ジャガイモ 50箱入荷(丹家と杉本が搬入し、丹家宅に入庫、うち10箱は、ゆとり作業所引き取り完了 現在在庫12箱)

## 2. 協議事項

- (1) チャリティーラン参加方法 高等学院参加者募集したが該当者なし。クラブからは、柴田、櫻井、田辺、杉本の4名参加、但し田辺ワイズは術後で体調次第で欠席の可能性あり。
- (2) 12月例会は、クリスマス礼拝のみ行う(丹羽牧師には了解済み)  
終了後、有志と共に祝杯を外部で行う
- (3) 理事提案：次年度より西日本区会費値上げについて協議理事提案2案については、反対(会費値上げしない方向を模索)  
理由：会費を値上げすれば、会員減少のスパイラルに陥る可能性がある。  
対策案：経費削減策(交通費の支給率を70%から50%へ)  
会員増員を促進させる。(新クラブ増設運動、部単位)

## 3. YMCA報告

維持会員の促進をお願いします。  
一口 5,000円/年間

### <第21回 六甲部部会報告>

11月12日(土)第21回六甲部部会が開催され、柴田ワイズ、杉本ワイズ、田辺ワイズが出席。第一部のクラブ活動事例発表では、杉本会長がクラブの公開例会を中心に活動報告をしました。

以下、六甲部部長通信 11月号掲載の若林部長の報告を転載します。

「11月12日(土)第21回六甲部部会が宝塚市にて開催され、六甲部をはじめ西日本各部から129名が集まりコロナ感染防止のため前年と前々年に開催中止から3年ぶりのリアル開催に親睦と交流のひとつときを過ごした。

部会の第1部「ワイズの地域貢献活動事例発表会」はソリオホールで行われ約60名が参加した。始めに障がいを持つ子供たち「ポップン・リンガース」のミュージックベルによる歓迎演奏、子供たちの緊張の中にも喜びを秘めた演奏に浸り心が安らぐひとときでとなった。続いて大型スクリーンに投影された画面を見ながら難病・重度障害者への活動・子どもと高齢者向けの地域活動・国際交流と環境保全活動の3分野に区分して総数10件の活動事例の発表と分野毎に意見交換が行われた。時間的な制約で発表できなかった事例も司会進行を務めた太田総主事(YMCAせとうち)が客席からくみ上げるなど、運営にも細かい心遣いが感じられた。最後にYサ主任 清水氏、CS主任 伊藤氏の講評、太田氏の総括が行われた。



午後1時から宝塚ホテル琥珀の間において第2部の親睦・交流会が行われた。若林部長が掲げる六甲部旗を先頭に7クラブの会長が大きな拍手を受けながらバナーをもって登壇。





開会点鐘・ワイズソング斉唱・聖書朗読・祈禱と続き、中道基夫先生による奨励があった。その後、鶴丹谷LD委員長の発声で乾杯があり美味しい食事をいただきながら親睦と交流を楽しんだ。食後のお楽しみは宝塚の往年の歌姫、絵莉千晶さんを迎え歌唱ショー。西日本区の最後の部会、明日へのエネルギーを持って帰ってもらう、の言葉通りに華やかな舞台が繰り広げられ、スマイルの花咲く頃、ジョニーへの伝言などの歌に男女を問わず目も魂も魅了された。



そして、最後にアピールタイム。2月、神戸での東西交流大会、6月、熊本の西日本区大会の案内がユーモアを加えて行われ、点鐘で閉会となった。

参加者からは、多くの学びと楽しさを織り交ぜた部会をありがとう、第1部に参加できず残念でしたが資料集を読み気づかされたこと、考えさせられたこと多々ありました。クラブに持ち帰って話し合いたい、などの声がよせられている。

なお、CS 活動事例集は六甲部 HP に掲載の予定。」

## 聖書の小窓

### 「祈ってくじ引きで」

「二人のことでくじを引くと、マティアに当たったので、この人が十一人の使徒の仲間に加えられることになった。」

(使徒言行録1章26節)

間もなく年末ジャンボ宝くじの季節がやってきます。宝くじのいいところは当選したら何をしようかと夢を描けることだと言われました。ある期間夢を見ることができるのは幸せではありますが。

ある牧師が「宝くじが当たる祈り方」という話をしていました。その牧師が言うには、多くの人が宝くじを買って祈っている。「3億円あたりますように」とか「せめて100万でも」とか。しかし、それは祈り方が間違っているというのです。金額を出して祈るのは、神様に命令しているようなものだとか。

それでは、どのように祈ると当たるか。「私にとっていま必要な金額を当ててください」だそうです。そうすると大抵は3千円当たると。つまり買った値段だけが返金されてくるということでしょう。本当かなと思いますが、神様が宝くじを当ててくださらないのは、間違った人生を歩まないためだというのです。くじ引きにも神様のご意思が働いているのです。

聖書の中でもくじ引きがあります。裏切りのユダに代わる使徒の選出がくじ引きでした。それは神様のご意思だと聖書は述べています。いわゆる使徒の補欠選挙は1回限り、祈りとくじ引きで決められたのです。すべては「神によって」が大切なことなのです。

西日本区チャプレン 立野 泰博